

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2071100305		
法人名	株式会社 カインズ・ライフ		
事業所名	グループホーム なかの		
所在地	長野県中野市岩船292-1		
自己評価作成日	令和 7年 12月 19日	評価結果市町村受理日	令和 8年 3月 23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kan=true&liqvoNoGd=2071100305-00&ServiceGd=320&Type=ssearch
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人 ピュア		
所在地	長野県佐久市三河田71-1		
訪問調査日	令和 8年 1月 29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様のペースに合わせてゆっくり過ごす時間を大切にしている。現在、ご家族との面会是对面を実施しており、面会時に心配している事、困っている事など気軽に相談できるように配慮し信頼関係を築けるようにしている。また、ご家族様に毎月1回ホームでの様子を各担当者より手紙にてお知らせし、「なかの通信」でも写真を中心にして日常の様子を伝えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

中野市岩船地区の、周りを閑静な住宅街に囲まれた中に開設から21年目を迎えた当ホームがある。利用者の平均介護度4.2、入居期間7年以上の方が半数弱という状況の中、職員は「その人らしい豊かな暮らし」という法人理念と地域密着サービスとしての理念「地域の方々との交流を大切に…」を大切に、日々、ブレのない安定した支援に取り組んでいる。ほぼこの1年間で3名の利用者の方の看取りをホームで行い、住み慣れた地域で、また、家庭的な環境で最期を迎えるという認知症高齢者にとっては理想に近い形で、医療関係者と共にチームとして支えている。「認知症をもつ人が安心して最期を迎える場所」という意味で、住み慣れたグループホームは「よく生きて、よく生き切る」一つの選択肢ではないかと言われている。グループホームは生活施設であるために看護師は常駐しないことがほとんどであるが、当ホームには非常勤の看護師がおり、ほぼ半日勤務の主たる看護師と、その看護師が休みの時は法人内の事業所を巡回している看護師がフォローしており、健康観察や服薬の調整をし医師との連携を図っている。また、毎週火曜日には契約の訪問看護師の来訪があり、24時間のオンコールが可能となっている。ホーム協力医の月2回の往診もあり、うち1回は薬局の薬剤師が同席し、薬の管理や飲み方についてのアドバイスを頂いている。介護が必要な高齢者が増えていく中で、認知症高齢者のグループホームの在り方も従来のものとは変わりつつあり、当ホームでは医療職との連携を図りながら、利用者本人や家族が望む場所での看取りの実現に向けて体制を整えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		